

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファーストステップ堺		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 15日		2025年 8月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 7月 15日		2025年 8月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに合わせた療育プログラムを、日々工夫しながら行い、職員が楽しんで行っている	自分たちが楽しんで提供できるプログラムであることから、子どもたちも楽しんで参加できている	集団療育では、発達により内容を難しくしたり、簡単にしたりとその時に応じて変えていく
2	保護者とは、送迎時やモニタリング、面談などで子どもについての情報の共有を行っている	保護者からの困りごとなどの相談時には、ゆっくりと話が聞ける日を設定している	園迎え園送りで保護者との連絡が少ない場合には、連絡帳にくわしく記入したり、電話で話すようにする
3	連絡帳やSNSを通じて、子どもの様子の発信を行っている	療育の様子を言葉だけでなく、写真でも見られるようにしている	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方との交流の機会が少ない	地域交流の場の情報不足	積極的に地域交流の場を確保していく
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ファーストステップ堺
------	------------

公表日 2025年 9月 15日

利用児童数 20

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1			・過ごしやすいと思う ・満足しています	今後も継続して行っていきます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			4	・多すぎるのではと思うくらいです ・確認する機会がなかったので	話をする機会の中でお伝えしてまいります
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15			1	・色が多く分かりやすそうだと思う ・満足しています	今後も継続して行っていきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			1	・ほこりっぽい印象をうけた為 ・のびのびと過ごせそうだと思う ・満足しています	毎日清掃は行っているが、換気をし、空気の入れ換えに気をつけてまいります
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1			・自分だけでは対応が厳しい時があるの で助かっています ・満足しています	特性をふまえた上での対応方法をお伝えしてまいります
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		1	・ゆつくりと成長できたらと思う ・（難しいとは思いますが）お兄ちゃん パンツでのトイレがまだできていないよ うなので	発達に合わせて対応しておりますが、 目で見てわかりやすく対応いたします
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1			・子どもの気持ちを考えてまとめてくだ さり助かりました ・満足しています	引き続き理解に努め、ニーズや課題分析 を行い、個別支援計画を作成してまい ります
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	2			・満足しています	詳しく説明するようにいたします
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1			・家ではしないようなことを楽しんでご ういう遊びもあるよと話してくれます ・満足しています	詳しく説明するようにいたします
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14			2	・満足しています	固定化しないようプログラムを検討して まいります
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9		3	4	・ばびぶグループのイベント活動しか知 らないので	今後体制を整えてまいります
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				・とても分かりやすかったです ・満足しています	今後も継続して行ってまいります
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				・見えない部分が知れてよかったです ・満足しています	今後も丁寧に努めてまいります
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1			・満足しています ・開催地が遠いので参加できない	堺市内で行えないか、社内へ相談いたし ます
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1			・家で見せている姿、外で見せている姿 が違うことを知れて夫婦で話し合いも増 えました ・満足しています	今後もコミュニケーションを取りなが ら、様子を伝えてまいります
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2			・人によって意見が違うので、面談が多 いのは嬉しいと思う ・満足しています	今後も面談の機会を大切にしてい きます
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1			・うちの子はこんな感じなんだと思っ た ・満足しています	丁寧にお伝えすることを継続いたし ます
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	9	4		3	・ばびぶグループのイベント時にきょう だいの参加はできますが、交流などは経 験がないので	交流の場を検討してまいります	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	1	・満足しています	相談や申し入れなど、事業所内で共有し、迅速かつ適切に対応できるよう努めていきます
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2		・教室での子ども本人との意思疎通等の配慮までは確認したことがないので	日頃から様子を伝える時に具体的に伝えるように心掛けています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2		・見て知れると安心する ・満足しています	情報を載せていることをお知らせいたします
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14		2	・確認できる機会がないので	十分に配慮してまいります
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16			・満足しています	引き続き、避難訓練を行い発信してまいります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13		3	・満足しています	避難訓練をしている様子をわかりやすく伝えるよう心がけます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		・満足しています	今後も安全に過ごしていただけるよう支援に尽力いたします
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		・満足しています	事故などが発生した場合には、速やかに連絡が取れるよう努めていきます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16			・お友達の名前など教えてくれます ・本人、保護者共に安心してあずけています！！通所しています	安心いだけで嬉しいです 今後も安心して通所していただけるよう努めてまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16			・登園も頑張っているのでイヤな気持ちにも前日はなるが、当日はルンルンで頑張っている ・私用時のフォローや困った時にもたくさん助けていただいています！！	今後も職員ともども楽しんで支援できるように尽力いたします 保護者さんとのコミュニケーションも引き続き行ってまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	16			・保育園の先生もよく知っているので、安心して決めました ・感謝しかありません！本当にいつもありがとうございます！！	引き続き、保育園との連携も行ってまいります 子どもたちの笑顔たくさんです これからも楽しい支援を心掛けてます

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ファーストステップ堺				公表日	2025年 9月 15日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		大きな柱やトイレ前に段差があるため、クッション材を使用している				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		パーテーションで仕切るようにしている				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4						
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	地域の統括リーダーが週に1回ほど見に来てくれている				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4						
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4						
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4						
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4						
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4						

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		連携の体制が整えられていないので、交流をしていきます
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		相談支援員とのやり取りが主となっている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		連携の体制が整えられていないので、意見などを聞けるような体制を取っていく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	イベントを行い、地域の遊び場で過ごしたりしています	他の子どもとのやり取りする機会を増やしていきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	モニタリング以外での面談が少ないので検討していく

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		保護者会の開催地が遠い理由があるので、堺市内での開催があるとよい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		地域での交流を検討していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		身体拘束の事例が今の所ない	